小学校第6学年 外国語活動 学習指導案

期 日 平成28年2月19日(金) 第2校時

場 所 山鹿市立山鹿小学校 6年3組教室

指導者 教諭 岩木 太一郎

1 単元名

「Lesson 8 What do you want to be? 夢宣言をしよう」 (Hi, friends! 2 文部科学省)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、外国語活動最後の単元であり、2年間の外国語活動のまとめとして「将来の夢」を題材としている。自分の将来の夢を想像し、どのような職業があるのかを確かめたり、どのような仕事がしたいのかを思い描いたりする活動はとても有意義である。児童が互いの「将来の夢」を伝え合う活動を通して、自分や友だちのよさを再認識し、みんなでその夢を実現していこうとする気持ちを持たせるのに適した題材である。

なお、本単元では、職業を表す英語が日本語の～師、～家のように、～er、～ist等で表すという「言葉の面白さ」に気付かせたり、「何になりたい?」と就きたい職業について尋ねたり答えたりする表現を扱う。また、外国語活動最後の単元であることから、これまでの既習語彙や既習表現を用いながら、「将来の夢」を積極的に伝え合おうとする姿を目指したい。知りたい、教えたいたいという相手意識や目的意識のある学習活動を設定することで、コミュニケーションの目的を明確にし、英語学習に対する意欲を高め、今後の英語学習へスムーズにつないでいくことができると考える。

本研究では、外国語活動を通して、21世紀に求められる資質・能力の要素である「関係形成」を築くことをねらいとしている。この資質や能力をはぐくむためには、ねらいに沿った単元構成及び指導が必要である。目的が明確な言語活動を通して、「アイコンタクト」「スマイル」「クリアボイス」はもちろん、相手の状況に応じて「確認する」「繰り返す」「発話のスピードに配慮する」「強調する」「訂正する」「ジェスチャーをする」「質問する」「反応する」など、個々の児童が相手意識を持って工夫しながら分かりやすく伝え合おうとする態度をはぐくむことが重要である。また、「協働・協調的な学び」を通して、友だちと自分の将来の夢を紹介し合う活動から、自分の考えを再構築させることで、コミュニケーションへの積極性や人間関係の形成を促すことが可能であると考えられる。

(2) 系統観

第5学年	第5学年	第5学年	第6学年	第6学年	第6学年	第6学年
			(7月)	(10月)	(11月)	(2月)
Hi, friends! 1	Hi, friends! 1	Hi, friends! 1	Hi, friends! 2	Hi, friends! 2	Hi, friends! 2	Hi, friends! 2
Lesson 3	Lesson 5	Lesson 6	Lesson 3	Lesson 5	Lesson 6	Lesson 8
How many?	What do you like?	What do you want?	I can swim.	Let's go to Italy.	What time do you get up?	What do you want to be?
いろいろなものを数えよう	友だちにインタビューしよう	アルファベットをさがそう	できることを紹介しよう	友だちを旅行にさそおう	一日の生活を紹介しよう	「夢宣言」をしよう
How many circles do you have? 数	What do you like? I like 色 形	What time do you get up? I get up at six thirty. 時間	I can I can't Can you Yes, I can. 動作 スポーツ	I want to go to Italy. Where do you want to go? 国名	I get up at seven. What time do you get up? 動作	I want to be a teacher. What do you want to be? 職業

(3) 児童観

- 「外国語活動の学習を好きである」という項目に対し、「あてはまる＋どちらかと言えばあてはまる」と回答している児童の割合は100%であり、多くの児童が外国語活動を好きである。さらに、英語を積極的に話したり、聞いたりするために、言いたくなる聞きたくなる学習課題を単元を通して提示する。
- 「ペアやグループ活動では、自分のことを伝えることができる」という項目において、「あてはまる＋どちらかと言えばあてはまる」と回答している児童の割合は94%であり、「ペアやグループ学習では、英語を通してみんなのことを知りたい」という項目においては、「あてはまる＋どちらかと言えばあてはまる」と回答している児童の割合は91%である。このことから、互に関わり合う場を設定することで、英語をツールとしてお互いにより相手意識をもって伝えようとする姿勢を育てたい。
- 「振り返りカードで授業の振り返りをすることが楽しい」と項目に対し、「あてはまる＋どちらかと言えばあてはまる」と回答している児童の割合は88%であり、授業のねらいに迫る振り返りの視点を与えながら、相互理解の観点も取り入れる。

(4) 指導観

- 外国語活動においては、コミュニケーション活動を通してその目標を達成するため、協働・協調的な学びが大前提となる。そこで21世紀に求められる資質・能力の育成のために、他者と協調しながら活動することによって獲得する価値を、「目的意識・相手意識に基づくコミュニケーションへの気付きや態度」とし、関係形成の構築をねらう指導を行う。
- 上記の価値の獲得をねらった指導と評価の計画を作成し、振り返りカードの項目に反映させる。毎時間の終わりに児童に学習を振り返らせ、その内容を共有することによって価値の自覚化を図る。

<p>【視点1】 学びを引き出す豊かなかかわり合いのある言語活動</p>	<p>【視点2】 学びを振り返る思考過程の可視化と学びの振り返り</p>	<p>【視点3】 学びを支える学びのUD化と効果的なICTの活用</p>
<p>児童の学習意欲を高め、目的意識や相手意識を引き出す学習課題を設定する。また、語彙や表現を慣れ親しむ活動から価値あるコミュニケーション活動につなぐ活動を工夫する。</p>	<p>目的意識や相手意識に基づくコミュニケーションへの気付きや態度を育み、関係形成の高まりをみとるための振り返りカードを作成する。また、活動の中では中間評価を行い、コミュニケーションへの価値付けを行う。</p>	<p>授業の流れをパターン化するとともに、毎時間統一した板書計画とする。視覚教材や活動における教材を工夫したり、効果的にICTを活用したりする。また、コミュニケーションスキルにおいては、継続的に指導を行う。</p>

◇インクルーシブ教育の視点から

【基礎的環境整備】

- ・一人一人が学習に見通しが持てるように学習過程を提示する。
- ・板書の書き方を毎時間統一し、安心して授業に取り組めるようにする。

【合理的配慮】

(省略)

3 単元の目標と評価規準 (参考：国立教育政策研究所作成「評価基準設定例」)

単元の目標	就きたい職業について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむとともに、英語と日本語の職業を表す語の成り立ちを通して言葉の面白さに気付き、積極的に自分の夢について伝え合おうとする。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	①積極的に自分の夢について話そうとしたり、友だちの夢を聞こうとしたりする。
外国語への慣れ親しみ	①様々な職業の英語の言い方を知り、聞いたり言ったりしている。 ②就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。
言語や文化に関する気付き	①世界の同世代の子どもたちも様々な夢を持っていることに気付く。 ②英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。

4 指導・評価の計画（4時間取扱い 本時3／4）

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 【3つの視点から】	評価の観点（評価方法） B基準
1	1	○様々な職業の言い方を知り、慣れ親しむ。	<p>・職業の言い方に慣れ親しむ活動を行う。</p> <p>【視点1】職業の言い方の扱いについては、ジェスチャークイズや職業カルタなど様々な活動を通して、楽しく聞いたり言ったりすることができるようにする。</p> <p>【視点3】授業の流れを示して、児童が見通しを持つ手立てとする。語彙に慣れ親しませるために、効果的なICTの活用を行う。</p>	<p>外国語への慣れ親しみ① (行動観察・振り返りカード点検) 様々な職業の英語の言い方を知り、聞いたり言ったりしている。</p> <p>言語や文化に関する気付き② (行動観察・振り返りカード分析) 英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。</p>
2	1	○就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	<p>・「何になりたい？」という尋ねる表現や「～になりたい」という表現に慣れ親しみ、既習の語彙や表現を用いながら、将来の夢の紹介文を考える。</p> <p>【視点1】「6年3組のみんなの夢を語り合おう！」の模造紙や「夢宣言」のワークシートを見せながら、言いたい聞きたいという意欲を持つことができるコミュニケーション活動を行う。</p>	<p>外国語への慣れ親しみ② (行動観察・振り返りカード点検) 就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>言語や文化に関する気付き① (行動観察・振り返りカード分析) 世界の同世代の子どもたちも様々な夢を持っていることに気付く。</p>
3	1 本時	○就きたい職業を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、どんな夢宣言文にしたいかを考え、またどんな紹介の仕方をしたらよいかを考える。自分の夢を紹介する表現に慣れ親しむ。	<p>・基本表現を使いながら、自分の将来の夢について具体物や写真を見せたりジェスチャーなどを使って分かりやすく伝え合う。</p> <p>【視点2】分かりやすい伝え方や友だちのよさなど、児童の多様な気付きを今後の学習へつなぐような振り返りの時間とする。</p>	<p>コミュニケーションへの関心・意欲・態度① (行動観察・振り返りカード点検) ・相手意識を持って、積極的に自分の夢について話そうとしたり、友だちの夢を聞こうとしたりする。 ・友だちの将来の夢やその理由について興味を持ち、返しや質問をすることによって積極的にコミュニケーションを継続しようとしている。</p>
4	1	○自分の夢を語り合い、お互いに感想やコメントを返す。そして、「6年3組みんなの夢を語り合おう！」の模造紙を自分たちの夢でいっぱいにする。	<p>・グループごとに自分の夢を語り合い、お互いに感想やコメントを返すという活動を設けることで、目的意識を持つ。</p> <p>【視点1】目的に沿った内容を自分たちで分かりやすく伝えたり、コメントを返したりすることで、豊かにかかわり合う活動を行う。</p>	<p>コミュニケーションへの関心・意欲・態度① (行動観察・振り返りカード点検) ・相手意識を持って、積極的に自分の夢について話そうとしたり、友だちの夢を聞こうとしたりする。 ・友だちの将来の夢やその理由について興味を持ち、返しをすることによって積極的にコミュニケーションを継続しようとしている。</p>

5 本時の学習

(1) 目標

グループで協力して、将来の夢を分かりやすく紹介し合う。

(2) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 13分	1 あいさつをする。 2 語彙と表現を復習する。 (1) チャンツを歌う。 (2) 語彙と表現を確認する。 3 自分の夢を紹介する表現に慣れ親しませる。 (1) 3ヒントクイズをする。 (2) Activityを再度聞く。 (3) 職業カルタをする。 4 本時のめあてをつかむ。	○Let's start today's English class! Good morning. How are you? 【視点3】授業の流れを示しておき、児童の学習意欲が継続する手立てとする。 ○チャンツ（音声教材）を聞かせ、絵カードを見せながら、一緒に歌う。 徹底指導 （ポイント） ◎いろいろな活動を通して、既習表現に慣れ親しむ。 ○I have / want / like / play / study / want to を確認する。 ○デモンストレーションから本時の目標をつかむ。 ○自分の夢を紹介する表現に慣れ親しむ時間を確保する。	授業の流れを掲示 電子黒板 デジタル教科書 職業カード 職業カルタ
展開 25分	【単元を貫く「問い」】「6年3組みんなの夢を語り合おう！」を完成させよう！ めあて グループで協力して、将来の夢を分かりやすく紹介し合おう！		
	5 自分の夢を紹介する。 (1) 自分の夢を紹介する言い方をペアで練習する。 <プラス1文> (2) 4人で一人ずつお互いの夢を紹介し合う。 (3) お互いの発表から、自分の文を再構成する。 <表現の工夫> (4) 4人で分かりやすく紹介するにはどうしたらよいか考える。 (5) もう一度一人ずつペアでお互いの夢を紹介し合う。 【言語活動】 （設定の意図） 4人のグループになり、相手に分かりやすく伝える工夫をしながら、自分の夢を紹介し合う活動を通して、相手意識を高める。	【視点1】前時までの十分な慣れ親しみを土台として、より相手意識が必要な活動に取り組む。また、グループ活動をメインに自分たちだけで活動を進める時間を増やし、伝える楽しさを味わう。 評価：コミュニケーションへの関心・意欲・態度 （行動観察・振り返りカード分析） ・相手意識を持って、積極的に自分の夢について話そうとしたり、友だちの夢を聞こうとしたりする。 ・友だちの将来の夢やその理由について興味を持ち、返しや質問をすることによって積極的にコミュニケーションを継続しようとしている。 能動型学習 （ポイント） ◎グループ活動を通して、夢を紹介し合い、意欲的に活動に参加できるように工夫する。 ○自分と友だちの考えの共通点(相違点)に気付くようにする。 ○「6年3組みんなの夢を語り合おう！」という模造紙を見せながら興味を高める。 ○I have / want / like / play / study / want to の表現を十分確認し、慣れる時間をとる。 ○コミュニケーションポイントへの意識を高める。	6年3組の模造紙 ワークシート
整理 7分	6 学習を振り返る。 (1) 本時の学習で分かったことと気付いたことを伝え合う。 (2) 振り返りカードを書く。	◎学習したことの共有化を図る。 【視点2】分かりやすい伝え方や友だちのよさなど、児童の多様な気付きを今後の学習へつなぐような振り返りの時間とする。	振り返りカード

eye contact

Warming Up

ゴール

みんなの夢を語り合おう！

sunny Friday February

めあて

グループで協力して、将来の夢を分かりやすく紹介し合おう！

nice smile

Key Word

[Blank yellow boxes for key words]

[Blank yellow boxes for key words]

[Blank yellow boxes for key words]

Key Sentence

What do you want to be?

I want to be a ().

Good dream!
You can do it!
Do your best!

Activity

Hello.
My name is ~.
I want to be a ~.
(その1)
(その2)
(プラス1)
(ボーナス)
I want to be a ~.
Thank you.

Nice dream!
Good luck!
Fantastic dream!

Review

ワーク
シートの
提示

Good Point
good gesture
clear voice

学習の流れ
Warming Up
Key Word
Key Sentence
Activity
Communication
Review

振り返り
カード

Communication

第6学年 外国語活動
本時3/4
板書計画